（様式１）

― 脳科学研究戦略推進プログラム ―

『柔軟な環境適応を可能とする意思決定・行動選択の神経システムの研究』

＜意思決定＞　研究開発提案書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究領域（右記いずれか１つに○印を付してください）※1 |  | 柔軟な意思決定・行動選択の解析・評価手法の開発 |
|  | 意思決定関連システムの機能検証技術の開発 |
|  | ヒトの行動選択の基盤となる神経システムの研究 |
| 研究開発課題名 |  |
| 代表機関 | 機関名 |  |
| 代表者 | 役職名 |  | 氏　名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| 研究開発代表者 | ふ り が な氏　　名 |  | 役職名 |  |
|  |
| 所属部署名 |  |
| 連絡先 | Tel.　　　　　　　　　Fax.　　　　　　　　　E-mail　 |
| 事務連絡担当者連絡先 | ふ り が な氏　　名 |  |  |
|  |
| 所属部署名 |  |
| 連絡先 | Tel.　　　　　　　　　Fax.　　　　　　　　　E-mail　 |
| 研究開発分担者※２ | ふ り が な氏　　名 |  | 役職名 |  |
|  |
| 所属部署名 |  |
| 連絡先 | Tel.　　　　　　　　　Fax.　　　　　　　　　E-mail　 |
| 研究概要 | *研究課題の概要について明瞭かつ簡潔に記載してください。（１０００字以内）* |
| 分担機関及び所要見込額（概算）※2 | 機関名（各機関の研究開発代表者名） | 年度別所要見込額（単位：千円） |
| 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 計 |
| 代表機関 | （　　　　　　　） |  |  |  |  |  |  |
| 分担機関 | （　　　　　　　） |  |  |  |  |  |  |
| 分担機関 | （　　　　　　　） |  |  |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |  |  |

※1　 研究領域について、２つ以上の領域に関連する研究の場合は、最も中心となる領域を選択してください。

※2　 上記分担機関にかかる欄は、分担機関がない場合は記載の必要はありません。
また、「研究開発分担者」欄において分担機関が複数ある場合、適宜欄を追加し記載してください。

（様式２）（５～８ページ程度にまとめてください）

提案課題全体の研究計画

|  |
| --- |
| *１．全体計画**募集要項「Ⅱ．２．公募対象領域、Ⅱ．３．事業内容」に記載されている事業内容を踏まえ、目的等（目的、達成目標、必要性、独創性、革新性、新規性、技術的実現性、年次計画の考え方、他の分野・領域との連携の考え方、研究開発効果、波及効果、人材育成など、募集要項で挙げている事項）について、具体的かつ可能な限り定量的に記載してください（説明図を添付することが望ましい）。**研究期間内に何をどこまで明らかにするかを明確にしてください。**研究分担項目が複数の場合や複数機関の場合には、各研究項目や各機関との関係についても明確にして記載ください。**※研究に当たり、脳プロ、革新脳の課題との連携等があれば、記載してください。* |
|  |
| *２．実施体制**各機関の研究体制、各研究者の役割分担、分担する理由、研究開発代表者及び研究開発分担者の氏名、実施場所など実施体制について記載してください。また、代表機関及び分担機関との組織/体系化・連携/協力体制・経費分担等について記載してください（体制図を添付すること）。さらに、本事業の既存課題である融合脳、BMI技術、BMI拡充、霊長類モデルや革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクトとの連携の可能性についても記載してください（研究機関及び研究テーマ・概要については、ＡＭＥＤのホームページを参照してください）。*  |
|  |

|  |
| --- |
| *３．期待される成果**期待される成果について６００字以内で記入してください。**当該研究によって直接得られる研究成果だけでなく、間接的に期待される新技術の創出、社会的成果（行政及び社会への貢献、国民の保健・医療・福祉の向上等）について記入してください。* |
|  |
| *４．研究の戦略**当該課題に関する、国内外における研究の現状及びその中における位置づけ、研究チーム（個人を含む）におけるこれまでの研究の進捗状況及び設備等の整備状況、克服すべき事項とその対策、研究成果の社会還元への可能性について記載してください。* |
|  |
| *５．生命倫理・安全管理に関する体制**募集要項｢Ⅸ．１１．生命倫理・安全、動物実験に関する取組みに関する法令・指針等｣を踏まえ、各機関内の生命倫理、安全対策等に係る審査体制等について記載してください。* |
|  |

|  |
| --- |
| *６．本課題に対する取組姿勢**本課題が採択された場合、代表機関及び分担機関の研究開発代表者の研究業務全般（組織内の予算による研究、他制度の競争的資金による研究等）に対する本課題への取組姿勢について具体的に記載してください。* |
|  |
| *７．遵守すべき研究に関係する指針等**（研究の内容に照らし、遵守しなければならない指針等については、該当するものを全て「■」にすること。）* |
| □　再生医療等の安全性の確保等に関する法律□　人を対象とする医学系研究に関する倫理指針□　ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針□　遺伝子治療臨床研究に関する指針□　動物実験等の実施に関する基本指針□　その他の指針等(指針等の名称:　　　) |
| 【例示】**体制図**「エフォート（研究充当率）○○％」を記載して下さい（以下、研究開発の実施者全て同じ）。研究開発項目間の関係をそれぞれ記載研究開発全体の取りまとめ：代表機関名・研究開発代表者名（１）＊＊＊（研究内容）（２）＊＊＊（研究内容）研究者Ｄ研究者Ｅ研究者Ａ研究者Ｃ研究者Ｂ研究者Ｆ・動物実験　　研究開発の実施者間の関係（例：動物実験、解析、評価等）をそれぞれ記入・ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ　　・分析　・解析　　・評価　・動物実験　　分担機関名・研究開発代表者名分担機関名・研究開発代表者名研究者Ｌ医師Ｊ＊＊＊（研究内容）＊＊＊（研究内容）医師Ｋ研究者Ｇ研究者Ｉ研究者Ｈ・解析　・ﾋﾄを対象としたデータ収集　　・ﾋﾄを対象とした調査、分析　　・動物実験　　・評価　・解析　　（注）・ 上の図はイメージであり、記載形式は自由です。研究開発課題を構成する研究開発項目、研究開発内容、研究チームを構成する各機関の実施分担及び全ての研究開発の実施者の担当内容、指揮命令系統が分かるように記載してください。・ エフォート（研究充当率）について エフォートの定義：「研究者の年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率（%）」に基づきます。なお、「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育等を含めた実質的な全仕事時間を指します。一人の研究開発の実施者が複数の研究開発項目に係わる場合は、その項目に係わるエフォートを記載するのではなく、この研究開発課題に係わる全エフォートを各研究開発項目に記載（全て同じ値）してください。 |
|  |
| *８．具体的な実施内容（平成28～32年度）**具体的な実施内容、達成目標や代表機関及び分担機関の連携・協力体制などを、年度ごとに箇条書きで記載してください。（１～２ページ程度でまとめてください。）　　（　　）書きで機関名を記入してください。* |
|  | 具体的な実施内容 | 年度の達成目標 |
| 28年度 |  |  |
| 29年度 |  |  |
| 30年度 |  |  |
| 31年度 |  |  |
| 32年度 |  |  |
| *９．研究開発年次計画（線表）**研究項目ごとに、実施機関が分かるように記載してください。また、線表の下に経費見込額を記載してください。**※下記「合計」は、分担機関の経費を含む。*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円） |
| 研究開発項目 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 経費の総額 |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 直　接　経　費 |  |  |  |  |  |  |
| 間　接　経　費 |  |  |  |  |  |  |
| 合　　計 |  |  |  |  |  |  |
| *１５．研究開発推進に必要な施設及び設備備品・機器* |
| 保有・購入・賃貸の区分 | 品名 | 仕様 | 用途 | 金額（千円） | 購入・賃貸の場合の調達時期 | 賃貸する機関（当事者） |
| 研究開発項目名・・　研究開発項目名・・ |  |  |  |  |  |  |

（注）

※１４．研究開発年次計画（線表）は、 研究開発項目ごとに記載してください。また、実施機関が分かるように記載ください。（線表の下に直接経費の見込額を記入してください。）

※間接経費は、直接経費の合計の３０％としてください。

※１５．研究開発推進に必要な施設及び設備備品・機器の「保有・購入・賃貸の区分」欄１４．研究開発年次計画の研究開発項目毎に記載してください。

※区分欄には既存、購入予定（金額（千円）、予定年度）、借用（借用先機関名）の別を記入してください。

【例示】

９．研究開発年次計画（線表）

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究開発項目 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 経費の総額 |
| (1)・・に関する研究開発 （細目まで記載）　①・・・に関する試験　②・・・に関する解析(2)・・に関する研究　　　　　・　　　　　・(3)・・に関する研究開発 ・ ・ | ・・の準備(○○大学)15,00030,00010,00015,000 | 5,00020,00020,00015,00015,000・・の試験及び評価 | 10,00015,00020,00020,00010,000 | 10,00015,0008,00030,0005,000 | 120,0005,00010,0005,0002,000取りまとめ | 90,00052,00048,000 |
| 直接経費 | 70,000 | 75,000 | 75,000 |  68,000 | 22,000 | 310,000 |
| 間接経費 |  21,000 | 22,500 | 22,500 | 20,400 | 6,600 | 93,000 |
| 合　　計 | 91,000 | 97,500 | 97,500 | 88,400 | 28,600 | 403,000 |

（注）

・ 研究開発項目ごとに記載してください。また、実施機関が分かるように記載ください。（線表の下に直接経費の見込額を記入してください。）

・ 間接経費は、直接経費の合計の３０％としてください。

（様式３）

全体計画の内訳（年度別所要経費）

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | **計** |
| 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |  |  |
| 2.人件費・謝　金 | 人件費 |  |  |  |  |  |  |
| 謝　金 |  |  |  |  |  |  |
| 3.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |  |  |
| 印刷製本費 |  |  |  |  |  |  |
| 会議費 |  |  |  |  |  |  |
| 通信運搬費 |  |  |  |  |  |  |
| 光熱水料 |  |  |  |  |  |  |
| その他（諸経費） |  |  |  |  |  |  |
| 消費税相当額 |  |  |  |  |  |  |
| 5.間接経費上記経費の30% |  |  |  |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |  |  |  |

注（１）　中項目等ごとの金額は千円単位（千円未満四捨五入）とし、原則として消費税込みで記載してください。

　　　　　※ただし、人件費、謝金、外国からの購入等、非課税・不課税取引の８％は中項目「消費税相当額」に計上してください。

（２）　分担機関が存在する場合は、各欄に下段に経費を（　　）書きで機関別に内数で記入してください。

※分担機関がない場合は上記の限りではありません。

（３）　中項目「設備備品費」は、取得価格が１０万円以上かつ耐用年数が１年以上の機械装置、工具器具備品の購入、製造又は改良に要する費用及び、資産計上するものの経費です。

（４）　試作品にかかる経費については、中項目「設備備品費」に計上してください。

（５）　中項目「人件費」は業務・事業に直接従事した者の人件費で補助作業的に研究等を担当する者の経費も含まれます。また、他の経費からの人件費支出との重複について特に留意してください。

（６）　中項目「外注費」は、委託業務に専用されている設備備品で委託業務使用中に故障したものを補修する場合も含みます。

（７）　中項目「光熱水料」は、間接経費からの支出では見合わない試験等による多量の使用の場合のみ、かつ、原則個別メーターがある場合のみ計上してください。

（８）　大項目「間接経費」は、本事業遂行に関連して間接的に必要となる経費（直接経費の３０％）です。

（様式４）※機関ごとに作成してください（１機関あたり３～５ページ程度にまとめてください）。

機関別研究計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １．機　関　名 |  | ２．研究開発代表者名 |  |
| ３．研究開発課題名（分担機関はサブテーマ名） |  |
| ４．目的、概要、分担する理由等　（400字程度） |
| ５．年次計画（年度別に具体的に記載してください。） |
| ６．２８年度における成果の目標、業務の内容　（業務項目別に具体的に記載してください。） |
| ７．業務の実施場所、責任者（研究開発代表者）及び分担実施者 |
| 業務項目 | 実施場所（機関名、所在地） | 責任者（氏名、フリガナ、所属、役職、連絡先：Tel, Fax, E-mail） |
|  |  |  |
| 業務項目 | 実施場所（機関名、所在地） | 分担実施者（氏名、フリガナ、所属、役職、連絡先：Tel, Fax, E-mail） |
|  |  |  |
| ８．テーマに関連してこれまで受けた研究費と成果等 |

|  |
| --- |
| ９．平成28年度の所要経費 |
| 大項目 | 中項目 | 主な品名・仕様・数量等 | 金額（千円） |
| 物 品 費 | 設備備品費 |  |  |
| 消耗品費 |  |  |
|  | 計 |  |
| 人 件 費・謝　　金 | 人件費 |  |  |
| 謝金 |  |  |
|  | 計 |  |
| 旅　　費 | 旅　　費 |  |  |
|  | 計 |  |
| そ の 他 | 外注費 |  |  |
| 印刷製本費 |  |  |
| 会議費 |  |  |
| 通信運搬費 |  |  |
| 光熱水料 |  |  |
| その他（諸経費） |  |  |
| 消費税相当額 |  |  |
|  | 計 |  |
| 間接経費 |  | 上記経費の30% |  |
| 総　　額 |  | 合　計 |  |
| １０．経　理担当者 | ふ り が な氏 名 |  | 所属・役職 |  |
|  |
| 連絡先 | Tel.　　　　　　　　　Fax.　　　　　　　　　E-mail　 |
| 所在地 | 〒 |

（様式５）※各研究者の研究業績については（様式６）に記載してください。

研究開発代表者及び研究開発分担者の研究歴等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| フリガナ研究者名（所属機関名・所属部署・職位） | 生年月日（西暦） | 最終学歴（学位） | 専門分野 | 研究歴（受賞歴・表彰歴を含む） |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

（様式６）※研究者ごとに作成してください（各研究者あたり１ページ以内にまとめてください）。

研究者調書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属機関・部署・役職・機関コード番号 |  | フリガナ研究者氏名 |  |
| 本事業のエフォート率 |  | ％ | e-Radの研究者番号科研費研究者番号（８桁） |  | 生年月日（西暦） |  |
| 研究業績（最近５年間に発表した主な論文のリスト、そのうち本申請に関連したもの5件以内に○印を付してください。）発表論文名・著者名等（論文、著書名、著者名、学協会誌名、巻(号)、最初と最後の頁、発表年(西暦)について記載してください。)　  |
|  |
| 主な知的財産（本申請に関連したものを５件以内。本申請との関連性についても記載してください。） |
| 例示：特許等　　　出願番号、登録者、発明の名称、出願人、出願日※無い場合は「なし」と記載してください。 |
| 本事業における他の課題の応募状況 |
| 課題の区分（※） | 研究開発課題名 | 申請区分（代表機関／分担機関） |
|  |  |  |
|  |  |  |

（※）課題の区分とは、本事業の既存課題である課題BMI技術、霊長類モデル、革新的技術による脳機能ネットワーク全容解明プロジェクト又は本公募での他の課題名を記載。

（様式７）

他制度等による助成

研究開発代表者及び研究開発分担者のうち、他制度（公的資金）による助成を受けているもの及び申請中のものがある場合には、以下のとおり必要事項を記載してください。該当がない場合には、「助成制度」の欄に「なし」と記入してください。

1.実施中の研究テーマ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 助成制度 |  |
| 研究者氏名 |  | 当該研究者の役割 |  |
| 研究テーマ |  |
| 研究期間 | 平成　　年　　月　～　平成　年　月 | 28年度エフォート |  | ％ |
| 助成金合計（見込み） | （本人／課題全体）　28年度　　　千円／　　　千円　　期間全体　　　千円／　　　千円 |
| 本申請との違い |  |
| 2 | 助成制度 |  |
| 研究者氏名 |  | 当該研究者の役割 |  |
| 研究テーマ |  |
| 研究期間 | 平成　　年　　月　～　平成　年　月 | 28年度エフォート |  | ％ |
| 助成金合計（見込み） | （本人／課題全体）　28年度　　　千円／　　　千円　　期間全体　　　千円／　　　千円 |
| 本申請との違い |  |

2. 申請中の研究テーマ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 助成制度 |  |
| 研究者氏名 |  | 当該研究者の役割 |  |
| 研究テーマ |  |
| 研究期間 | 平成　　年　　月　～　平成　年　月 | 28年度エフォート |  | ％ |
| 助成金合計（見込み） | （本人／課題全体）　28年度　　　千円／　　　千円　　期間全体　　　千円／　　　千円 |
| 本申請との違い |  |
| 2 | 助成制度 |  |
| 研究者氏名 |  | 当該研究者の役割 |  |
| 研究テーマ |  |
| 研究期間 | 平成　　年　　月　～　平成　年　月 | 28年度エフォート |  | ％ |
| 助成金合計（見込み） | （本人／課題全体）　28年度　　　千円／　　　千円　　期間全体　　　千円／　　　千円 |
| 本申請との違い |  |

※上記記入内容について、事実と異なる記載をした場合は、研究開発課題の不採択、採択取り消し又は減額配分とすることがあります。

※単年度１課題あたり3,000万円以上（間接経費を含む）の助成を受けている研究者については、本申請と3,000万円以上の課題との違いを詳細に様式８に記載してください。

（様式８）

本申請と他制度等による助成との研究内容の違い

　研究開発代表者及び研究開発分担者のうち、他制度（公的資金）による助成で単年度１課題あたり3,000万円以上（間接経費を含む）の助成を受けている者については、本申請と3,000万円以上の課題との違いを文章、図等を用いて詳細に説明するとともに、他の助成での実施体制（参画研究者が分かるように）も記載してください。（記載は自由形式）

|  |
| --- |
|  |

（様式９）※分担機関がある場合のみ提出してください（分担機関ごとに作成）。

平成２８年　　月　　日

承　　　　諾　　　　書

（代表機関の研究開発代表者の所属機関・職名）

（代表機関の研究開発代表者の氏名）　殿

（分担機関の研究開発分担者の所属機関・職名）

（所属長の氏名）　公印

 「脳科学研究戦略推進プログラム」の研究開発課題の募集に対し、当機関（研究所）の職員が、
下記により応募することを承諾いたします。

記

１．研究開発課題名 　代表機関の課題名

　　　　　　 　 　　　（分担機関の課題名）

２．研究者氏名 　氏名のみ記載

* 所属機関長の氏名・職印は、学部長、附属研究者等の部局の長が承諾書に関する権限を委任されている場合は、こられの部局長の氏名・職印で差し支えありません。
* 同一の課題について、同一の機関から複数の研究開発分担者が参加しようとする場合は、「２．研究者氏名」に連記して差し支えありません。

（別添１として添付すべきもの）

研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針への適合性に関する

自己点検・評価について

「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（平成18年文部科学省告示第71号）」に定められた動物種を用いて動物実験を実施する機関については、本基本指針に基づき、機関自らが実施した本基本指針への適合性に関する自己点検・評価結果のうち、直近で実施した自己点検・評価結果の写しを添付してください。

　※申請時には本ページ自体は添付いただく必要はありませんので、自己点検・評価結果の写しのみを添付してください。

（別紙）

提出書類チェックシート

提出書類について、欠落がないかチェックの上、本状も提出願います。なお、本チェックシートは、応募１件につき１枚提出してください。

研究開発課題名：

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| チェック欄 | チェック項目 | 備考 |
| □ | 様式１ | 研究開発提案書 | － |
| □ | 様式２ | 提案課題全体の研究計画 | ５～８ページ程度 |
| □ | 様式３ | 全体計画の内訳（年度別所要経費） | － |
| □ | 様式４ | 機関別研究計画 | 機関ごとに作成３～５ページ程度／１機関 |
| □ | 様式５ | 研究開発代表者及び研究開発分担者の研究歴等 | － |
| □ | 様式６ | 研究者調書 | 研究者ごとに作成１ページ／１研究者 |
| □ | 様式７ | 他制度等による助成 | － |
| □ | 様式８ | 本申請と他制度等による助成との研究内容の違い | － |
| □ | 様式９ | 承諾書 | 機関ごとに作成（分担機関がある場合のみ提出） |
| □ | 別添１ | 研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針への適合性に関する自己点検・評価結果の写し | － |

* 応募書類の提出先等については、募集要項「Ⅳ．提案書の作成と注意」をご確認ください。